

秋田市の先人たち

秋田蘭画の始祖

佐竹曙山

寛延元（一七四八）年生

天明五（一七八五）年没

江戸浜町藩邸生まれ



主な事蹟

本名は義敦。曙山は雅号。

秋田藩第八代藩主として藩政を行う一方、平賀源内から洋風画を習った角館の小田野直武とともに、東洋画の主題に西洋画法を導入して、「松に唐鳥図」や「湖山風景図」などを描き、いわゆる秋田蘭画を創出した。また、「画法綱領」、「画図理解」など、日本最初の西洋画論を著した。